

第6回世界自閉症啓発デー（平成25年4月2日）に寄せて
（大臣メッセージ）

4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。また、2日から8日まででは「発達障害啓発週間」です。自閉症をはじめとする発達障害への理解を深めるため、東京タワーや日本各地のランドマークを「癒し」や「希望」などを表す青色でライトアップするブルーライトアップを中心として、様々な啓発イベントが行われます。

我が国では、平成16年に成立した「発達障害者支援法」に沿って、発達障害のある人のための施策が進められています。支援体制の中核となる「発達障害者支援センター」が全国に設置され、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応した支援に取り組んでいます。

自閉症をはじめとする発達障害のある人は、その行動や態度が「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。しかしそれは、親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の発達が関係する生まれつきの障害なのです。「世界自閉症啓発デー」を契機として、国民の皆様に、自閉症をはじめとする発達障害への理解を深めていただきたいと思います。

厚生労働省では、これからも、当事者の声をしっかりと聞きながら、発達障害のある人が一人ひとりの力を発揮できる社会の実現に全力で取り組んでいきます。多くの皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

平成25年4月2日
厚生労働大臣 田村 憲久